

人間の能力とは何か

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

おはようございます。開倫塾の塾長の林明夫です。

3月に入りました。来週は、公立高校入試ですね。受験生の皆さんにはぜひ頑張ってくださいと思います。

(1)さて、明治大学に、教職課程の「授業のデザイン形成」の支援プロジェクトというものがあります。先週の日曜日、2月25日に行われたその報告会に行ってきました。そこで、森敦先生という、高名な数学の先生の講演をお聴きしました。非常に面白い事を教えていただきましたのでご紹介します。

自分の関心のあること・楽しみを、勉強や仕事との兼ね合いの中で、どのくらい優先したらよいかということです。10代であれば、勉強とか仕事が9割・自分の楽しみは1割です。20代は、勉強や仕事8割・自分の楽しみ2割。30代は、7割と3割。40代は、6割と4割。50代は、5割ずつ。60代になると逆転して、自分の楽しみ6割と仕事4割。70歳を過ぎても仕事を続ける方が望ましいですから、70代は、楽しみ7割仕事3割。80代は、8割と2割。90代は、9割と1割です。このように、年代に応じて、2つの割合を増減させていくというお話を伺い、とても面白い考えだなと思いました。表にあらわしてみます。

「勉強や仕事」と「自分の関心のあること・楽しみ」との兼ね合い

	勉強や仕事	自分の関心のあること・楽しみ
10代	9割	1割
20代	8割	2割
30代	7割	3割
40代	6割	4割
50代	5割	5割
60代	4割	6割
70代	3割	7割
80代	2割	8割
90代	1割	9割

いろいろな生き方があるが、社会的に必要なことや勉強・仕事をするのは、とても大切なので、やるべきことはきちんとやる。一方で、自分のやりたいことや楽しみ（社会的な意味を持った楽しみであれば最高ですが）を持って人生を過ごす。森先生は、このような内容のお話もされていましたが、これに関してもすばらしいなと思いました。

2. 能力とは何か

さて、「開倫塾の時間」ではこれまでずっと、勉強の仕方についてお話をしておりますが、一体、「能力とは一体何か」という根本的な疑問が常にあります。

(1) パリに本部を置くOECD（経済協力開発機構）という国際機関が、国際標準の学力、能力とは何かという大研究を行いました。その研究結果が出ましたので、今日はそれについて少しお話をさせていただきます。

人間にとって、大切な能力は、3つあります。一つは、相互作用的に道具を用いることのできる能力です。その道具の中には、言葉や知識、技術、そういったものが含まれています。

2つ目は、異質な集団（価値観の違い、生き方の違い、居住する国の違い）で交流するコミュニケーション能力です。それには、他人と良好な関係をつくること、協力し合うこと、チームで働くこと、争いを処理したり解決したりすることなどが含まれ、大切な能力であります。

3つ目は、自律的に活動する能力です。この「りつ」は「立」ではなく「律」で、自分自身をコントロール・律するということです。

これから自分はどうするかという時には、大きな展望の中で活動することが大切です。その時にはこのようなことをやってみたいという個人的な人生・プロジェクトを設計し、それを自分の力で自身をコントロールしながら実行する能力が必要とされます。最終的には、自分自身の権利、利害、限界などを知ること、何をやりたいのかを明確にすることができないとなかなか上手には生きられません。

上手に生きるには、自分の権利はどこまであるのかを知り、その上でこのような権利があるのだから使わせてくださいとはっきり言うことです。また、自分はどこまでできて、どこから先はできないのか、つまり自身の限界を知ることです。それから、自分にとって利益になることと、害悪になることをきちんと見極めて、自分自身を律することです。他人を害することはもちろん、他人から害されることもいけません。さらに、自分が本当にやりたいことを明らかにすることです。犯罪行為や道徳に反することは決して行ってはなりません、それ以外のことでどのようなことをやりたいのかをはっきりと表明することも大切だと思います。

(2) 以上、OECDは、7年の年月をかけて、「人間にとって必要な能力は何か」という大研究を行い、相互作用的に道具を用いる能力。異質な集団で交流する能力。自律的に、つまり自分自身を律しながら活動する能力の3つを、人間にとって大切な能力であるとしました。これを、コア（核になるような）・コンピテンシー、キー（鍵になるような）・コンピテンシーと呼び、人間にとって基本的な能力としています。

3 . おわりに

皆様もぜひ、人間にとって大切な能力とは何かということをお考えになり、学校時代だけでなく社会に出てからもその能力を高めていただけるようお願いいたします。

以上

- 2008年8月12日加筆 -